

田尻だより

平成 21 年

3月号

Vol. 72

次回の田尻便りは
4月1日発行予定!

早春の候 降る雪に

はまだ冬を感じる中、

雁たちはすっかり北へ

帰ってしまいました。

いつもながらそのあつ

さりとした引き際に、

置いてけぼりの感を抱

いてしまいます。

とはいえ私達もいよ

いよ米作りが始まりま

す。どうか今年はよい

年になりますように!

9ヶ月にわたる息子のあきとは
今なお夜泣きが続いている。



夜中に仕事をしようとしても
すぐに連れて来られます。

しかもひと晩に5回も泣く

〔真に求めているもの〕

食の安全、環境保全、

食育、スローライフ…。

近年、農業に求められ

る要望は多岐にわたり、

これまで軽視されてき

た農業の多面的機能が

見直されてきています。

その流れを受けて、

栽培の記録や品質管理、

調査活動、自然再生、

勉強会や研修会、民泊、

グリーンツーリズム等、

まさに多種多様な仕事

が農家に課せられるよ

うになりました。

それらが農村を活性化させている事も事実ですが、一方で見合わない収益に対し負担ばかりが増え、農家がどんどん疲弊しているのもまた事実です。

自分出来る限りの

ことをやりたいと思う

一方で、ただ自然の巡

りに寄り添い、心豊か

に農を営みたいだけな

のに…とも思います。

その気持ちはきつと、

農家も消費者も同じな

のだと思います。

そんなやりとりが続いた結果、
現在は夫婦別々の部屋で
生活しています。



そして、お互い自分のペースで
寝たり仕事したり…の毎日です。

未 暦 ～こめごよみ～

2月7日 生き物と稲作の勉強会
8日 生産者全体協議会

2月3日、6日、10日、13日、
17日、20日、24日、27日

未検査をしました

7～8日に鳴子温泉で勉強会と協議会を行いました。勉強会では、生き物調査の結果報告を地区ごとに農家さんが発表しました。協議会では今年の作付け方針と作付け計画について話し合いました。

嫁日記

小野寺家のお母さんが10日ほど入院しました。肝臓に菌が入って炎症を起こしたとのことで、本人は至って元気。ただ、家のほうはもう、てんやわんや…。

ちょうど義弟(小野寺家三男)の結婚前の両家顔合わせが入っていて、仕事、育児、

家事(ほとんどやってない)、そのうえ顔合わせの準備(主に掃除)に顔合わせ、そして東京出張(×2回)で、もう何が何だか。本当は出張は3回だったのですが、さすがに無理で1つはキャンセル。

気がつけばあっという間に終わっていた2月。28日という短さとお母さんの存在を、痛感した1ヶ月でした。

絵と文/小野寺ひかる